

とっておきの新居浜検定 問題用紙

(午後1時30分開始 制限時間60分)

第14回 中級

注意事項

1. 解答用紙の記入にあたっては、HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシルを使用する。
2. 解答はすべて答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。
3. 【 】にあてはまる語句を答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

令和5年11月12日(日)

新居浜商工会議所

新居浜検定事業運営協議会

(問題1)

新居浜市は、東経【 問題1 】度17分、北緯33度57分に位置し、東は四国中央市、西は西条市、南は高知県境に接し、北は瀬戸内海の燧灘に面しています。

(問題2)

金子山の北麓にあり昭和27年(1952)に発掘、その後整備された、金子城主累代の墓であったと考えられているものは何でしょう。

(問題3)

国指定文化財である一宮神社のクスノキ群は約90本のクスノキで構成されていますが、その中で最も大きなものを何と呼んでいますか。

(問題4)

市内中央部を流れる国領川の上流に架かる生子橋から、マイントピア別子、鹿森ダム、清滝等を経て河又に至る約10キロメートルの渓谷の名称を書いてください。

(問題5)

新居浜新民謡「ちょおうさじゃ」の作詞家は誰でしょう。

(問題6)

天を支える柱であり、東西南北の四方を表すとされる太鼓台の部位はどこでしょう。

(問題7)

基本の太鼓の打ち方は何拍子でしょう。

(問題8)

絢爛豪華な新居浜太鼓台はさまざまなイベント等に派遣されていますが、平成5年(1993)に海外にも派遣されています。その国はどこでしょう。

(問題9)

太鼓台派遣事業は、昭和45年(1970)に開催された【 問題9 】のお祭り広場に出場したのが始まりです。

(問題10)

元禄7年(1694)の別子大火災で亡くなった132名の霊を弔う墓所を何というでしょう。

(問題11)

第三通洞は、何年から建設作業をはじめ、明治35年(1902)に完成したか、書いてください。

(問題12)

別子銅山は元禄4年(1691)に開坑しましたが、閉山したのは何年か書いてください。

(問題13)

画期的な物資輸送路として別子銅山の近代化を進める原動力となった、別子銅山で初めてできた輸送用トンネルの名称を書いてください。

(問題14)

別子の荒れ果てた山々を嘆き、「旧の青々とした姿」に戻すため年間百万本を超える植林を指導した住友2代総理事は誰でしょう。

(問題15)

別子銅山の煙害対策で惣開にあった製錬所を移転した島の名前を書いてください。

(問題16)

旧別子エリアでキースラーガーと呼ばれる黄銅鉱を主とした層状硫化鉱物が地表に出てきたものを何というか書いてください。

(問題17)

その建物は、明治45年(1912)に別子銅山で使用する電気をつくるために建てられ、当時東洋一といわれた597mの有効落差を利用して発電を行いました。平成23年(2011)には、国の登録有形文化財に登録され、令和5年(2023)3月28日には一般公開を開始したその建物の名前を書いてください。

(問題18)

「行こうか戻ろうか銅山山へ ここは思案の眼鏡橋」と別子銅山せつとう節にも歌われた眼鏡橋(不朽橋)は、物資輸送の中継基地である【問題18】前に架けられていましたが、明治32年(1899)の別子大水害のため流失しました。

(問題19)

住友にゆかりのある川田順は「地中にてはたらくことは慣れながら 皆【問題19】に礼して這入る」と歌に詠みました。

(問題20、21)

遠登志橋は、明治38年(1905)に建設されました。東平や別子山への【問題20】や、銅や鉄などの重金属を含む坑内排水が、川に混入することを防ぐ【問題21】の坑水路も併設されていました。

(問題22)

三代目住友家総理事、鈴木馬左也の出身地はどこでしょう。

(問題23)

東洋のマチュピチュと称されている東平には、ケーブルカーの一種のような仕組みで、高低差の大きい場所へ、荷物を運搬していた設備がありました。その名称を書いてください。

(問題24)

明治45年(1912)に鷲尾勘解治が、鉱山従業員の精神的な向上を図るため設立した私塾の名前を書いてください。

(問題25)

写真の旧広瀬邸の母屋2階であるこの場所は何と呼ばれているか、書いてください。



(問題26)

昭和29年(1954)、多喜浜塩田では入浜式塩田からより効率のよい方式の塩田に転換をこころみました。この塩田の名前を書いてください。

(問題27)

明治17年(1884)、東浜産塩株式会社は瀬戸内海を襲った台風で被害にあった旧西条藩主松平家の塩田を地元塩業者らが購入し、明治26年(1893)の商法施行の際、27軒をもって設立されました。この時の資本金を書いてください。

(問題28)

別子銅山の開坑と同じ元禄の昔、新居浜の一大産業として塩田開発が築造されましたが、元禄【 問題28 】年に深尾権太輔により着手されたか、書いてください。

(問題29)

久貢屋敷には「多喜浜塩田開基」の顕彰碑が建立されていますが、その顕彰碑に揮ごうした人物は誰でしょう。

(問題30)

多喜浜塩田地主浜旦那小野家は、松神子村の庄屋を務めました。何という屋号で呼ばれていたでしょう。

(問題31)

大蔵省坂出地方専売局多喜浜出張所は、明治38年(1905)の塩専売法に基づき発足し、昭和27年(1952)に新居浜出張所に合併しました。閉鎖されるまでの間、塩や【 問題31 】などの検査や収納の業務を行っていました。

(問題32)

多喜浜塩田開祖である深尾権太輔が死去し、墓碑と頌徳碑「塩田永潤徳」が建てられている寺の名称は何でしょう。

(問題33)

塩田地主の家には、天皇家菊の紋章と徳川家葵巴の紋章があしらわれた長櫃があります。これは、孝明天皇の妹【 問題33 】から拝領されたと言われています。

(問題34)

塩田で使用される道具で、塩を入れる袋の名称を書いてください。

(問題35)

江戸時代後期、1800年頃より藤田家当主は多喜浜塩田惣肝煎役として塩田の発展に尽くす一方、14代当主藤田吾郎は西条藩【 問題35 】を務める家柄でした。

(問題36)

別子銅山記念図書館は、別子開坑【 問題36 】年にあたる平成2年(1990)に住友関係企業21社から寄贈されたものですが、その敷地には、かつて住友の接待館として泉寿亭が建てられており、現在はその一部がマイントピア別子に移築されています。

(問題37、38)

愛媛県総合科学博物館は、自然や科学技術に対する理解を楽しみながら深めるとともに、東予地域において生涯学習の情報や機会を提供する施設として建設されました。館内には、恐竜の動く模型が展示されている【 問題37 】館・科学技術館・【 問題38 】館の3つの常設展示室があります。

(問題39、40)

【 問題39 】は、古くから船木地区に伝わる雨乞いの踊りです。【 問題39 】は、【 問題40 】から江戸時代中期にかけて完成されたといわれています。

(問題41)

この地方には古くからの伝統として、嫁入りをするとき、持って行く習慣がある「おいり」とも呼ばれる米菓子は何というでしょう。

(問題42)

いもだきの起源とされている江戸時代の親睦行事を何というでしょう。

(問題43)

【 問題43 】は、瀬戸内海でとれる新鮮な小エビと小魚の白身と豆腐を混ぜて焼き上げたものです。

(問題44)

新居浜市では、他市に誇れる優れた工業製品や特長ある技術を【 問題44 】として認定し、全国に広く情報発信をしています。

(問題45)

現在、住友化学株式会社は市内の惣開町、菊本町、大江町に総面積【 問題45 】万㎡を超える工場があり、様々な種類の製品を生産しています。

(問題46)

正岡子規が詠んだ次の歌の空白部分を埋めて下さい。

「武蔵野に 秋風吹けば 故郷の 新居の郡の【 問題46 】をしぞ思う」

(問題47)

新居浜地方の方言で「がんごう」という言葉があります。この言葉の意味は何でしょう。

(問題48)

初代新居浜市長となり、住友との協力が大切だと、鷲尾勘解治が提言した新居浜港や昭和通り等の都市計画を実行、新居浜市が工業都市になるもとをつくった人物の名前を書いてください。

(問題49)

角野村収入役、同助役、角野町長などを歴任し、県会議員を20年間務め、議長や副議長としても活躍、また新居浜商工会議所会頭や新居浜市森林組合長、シルバ人材センター会長など、商工業はもとより県内諸産業の発展に尽力した人は誰でしょう。

(問題50)

一宮神社の中で神様として祀られている小女郎狸が変化したという「美しき姫」は今でも街の中で見られますが、何という通りで見られるか書いてください。